



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月15日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
コード番号 6199 URL <http://www.seraku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営管理本部長 (氏名) 米谷 信吾 (TEL) 03(3227)2321
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績（2025年9月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	18,910	2.0	2,019	0.5	2,061	0.5	1,247	△5.1
2025年8月期第3四半期	18,545	12.7	2,009	12.5	2,051	13.7	1,315	14.2

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 1,244百万円 (△5.2%) 2025年8月期第3四半期 1,313百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	94.20	94.08
2025年8月期第3四半期	97.61	97.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	14,790	9,835	66.3
2025年8月期	13,324	8,902	66.6

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 9,806百万円 2025年8月期 8,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	13.20	13.20
2026年8月期	—	0.00	—		
2026年8月期（予想）				17.40	17.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	10.6	2,850	11.7	2,880	10.8	1,870	9.4	140.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年8月期3Q	13,710,000株	2025年8月期	13,680,900株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	526,505株	2025年8月期	417,970株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年8月期3Q	13,244,294株	2025年8月期3Q	13,473,730株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式付与 ESOP信託口」が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	9
(販売実績)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国による通商政策をめぐる不確実性の高まりを背景に、海外経済の先行きに対する不透明感が継続しました。また、ウクライナ情勢や中東地域を巡る地政学的リスクの長期化に加え、為替相場や資源価格の変動等もあり、依然として不確実性の高い状況が続きました。一方、国内においては、企業収益の改善や賃上げを背景とした所得環境の改善に加え、インバウンド需要の回復や設備投資の増加などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。また、日本銀行による金融政策の正常化に向けた動きが続くなど、金融環境にも変化が見られました。このような経済環境のもと、先行きについては、米国の通商政策の動向や物価動向、海外経済の不確実性、金融政策の動向等を注視する必要がある状況となっております。

当社グループが属する情報産業分野においては、企業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に加え、生成AIをはじめとするAI技術の活用拡大を背景に、業務効率化や生産性向上、データ活用高度化に向けたIT投資が引き続き堅調に推移しました。特に、企業の生成AI活用においては組織的導入が拡大しつつある一方、IT人材の需給ギャップ拡大が予測されており、生成AI、クラウド、セキュリティなどの先端分野に対応可能な高度IT人材の育成および確保が、業界共通の課題となっております。さらに、米国等のAIプラットフォームがFDE（Forward Deployed Engineer）モデルを拡大するなど、AIソリューションの提供形態そのものが変容しつつあり、日本市場においても同様の変化が見られます。

このような事業環境のもと、当社グループでは、自社エンジニアのAI実装力育成と、IT人材プラットフォームを通じたソリューション供給体制の強化を重要な成長指標と位置づけ、ビジネスパートナーとの連携強化により、柔軟かつ安定的なリソース体制を構築し、幅広いITサービスの提供に努めてまいりました。また、当社グループが有するAI・IoT開発力を活かし、CAIO（チーフAIオフィサー）を擁するAI専任チームが社内業務のAI効率化および顧客向けAIソリューション事業の立ち上げをリードしており、高利益体質の「AIソリューションカンパニー」への転換を推進しております。

これらの結果、当社グループの売上高は18,910,758千円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2,019,390千円（前年同期比0.5%増）、経常利益は2,061,880千円（前年同期比0.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,247,663千円（前年同期比5.1%減）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

① デジタルインテグレーション事業

デジタルインテグレーション事業において、SI（システムインテグレーション）領域では、ITインフラソリューションとして、各種ITシステムの構築から運用・保守までを一貫して手掛けております。加えて、生成AIをはじめとするAI技術を活用し、より効率的かつ高度なサービス提供体制の構築に向けた取り組みを推進しております。

DX（デジタルトランスフォーメーション）領域では、顧客管理・営業管理システム「Salesforce」や統合人事システム「COMPANY」を中心としたクラウドソリューションの導入、運用および定着化を支援しております。また、法人向けChatGPT活用サービス「NewtonX」を通じて、導入企業におけるAIの業務活用を促進しております。さらに、IoTクラウドサポートセンターにおいては、クラウドインフラおよびIoTサービスの運用を24時間365日体制で提供しております。

このようなSIおよびDXの両領域を横断する取り組みとして、FDE（Forward Deployed Engineer）を中心としたAIソリューションの開発・提供にも着手しております。当該ソリューションは、顧客現場に入り込む形で業務プロセスの可視化および再設計を行い、AIの実装・活用までを一体的に支援するものであり、従来のシステム構築やクラウド導入にとどまらない、新たな付加価値の創出を目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、ITシステムの構築・運用やクラウド基盤への移行、24時間365日対応のマネージドサービスに対する堅調なIT投資需要を背景に、取引拡大に取り組みました。あわせて、SalesforceおよびCOMPANY領域においては、営業・業務プロセス改革や人事領域に関する案件について、コンサルティング要素を強化した提案により、サービスの高付加価値化・収益性向上を実現しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は18,252,505千円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は2,062,526千円（前年同期比0.4%増）となりました。

② みどりクラウド事業

当社グループは、AI・IoTをはじめとする先端技術を社会に実装することを起点とし、農業・畜産・水産分野を一つの適用領域として、DX化支援のプラットフォームサービス「みどりクラウド」「ファームクラウド」を展開しております。みどりクラウド事業では、これらのプラットフォームサービスに加え、一次産業をはじめとした各産業分野の個別課題を解決するソリューションサービスを展開しております。

中でも「みどりクラウドらくらく出荷」の開発を通じて獲得したコア技術（多種多様で大量の荷物を瞬時に把握する技術・トレーサビリティの確保）は、物流や入出庫管理の省力化とペーパーレス化を実現するものであり、労働人口の減少や物流の制約といった課題を抱える青果流通以外の幅広い産業分野へも適用可能です。当社グループでは、これらの技術を他産業分野へ転用することで適用領域を拡大し、新市場を創出する事業として、みどりクラウド事業を単なる農業DX支援に留まらない成長基盤と位置付けております。また、こうした研究開発で培ったAI・スマートテクノロジーの技術資産と専任のAIチームを基盤として、既存事業・新規事業を問わず、グループ全体のAIサービス開発を担っております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続きソリューションサービスの受注拡大に注力いたしました。また、2023年3月にリリースした、青果・花き・米穀流通の現場にバーコードやクラウドシステムなどのデジタル技術を導入する「みどりクラウドらくらく出荷」の拡販等、将来の事業拡大に向けた先行投資を行っております。一方で、前年同期に計上した一部大型案件の反動影響により、売上高は前年同期を下回る結果となりました。農産物の集出荷業務に関しては、多くの農業者や出荷団体が共通の課題を抱えており、今後は全国のJAや生産法人に向けた拡販を進めてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は165,515千円（前年同期比17.5%減）、セグメント損失は99,152千円（前年同期はセグメント損失78,394千円）となりました。

③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社セラクビジネスソリューションズにおいて、3DCAD分野の技術、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術、ならびに各種建設および情報通信に関する技術を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、エンジニアの採用および育成に注力いたしました。安定した稼働率の維持や新たな技術分野における案件獲得が進んだことにより、事業は堅調に推移いたしました。引き続き、各領域および分野での案件獲得が期待されることから、教育によるエンジニアの付加価値向上や地理的展開を図りつつ、企業規模の拡大を進めてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は602,432千円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は41,591千円（前年同期比137.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,466,055千円増加し14,790,392千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が84,172千円、仕掛品が24,312千円、のれんが19,292千円減少したものの、現金及び預金が1,072,692千円、繰延税金資産が198,100千円、建物が145,139千円、保険積立金が79,086千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ533,014千円増加し4,954,577千円となりました。これは主に、賞与引当金が571,369千円、流動負債（その他）が92,633千円、未払消費税等が74,223千円減少したものの、未払金が1,216,935千円、未払法人税等が83,743千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ933,040千円増加し9,835,814千円となりました。これは主に、利益剰余金が1,071,272千円、自己株式が153,825千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月15日の「2025年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,765,946	8,838,638
売掛金及び契約資産	2,835,099	2,750,926
仕掛品	38,026	13,713
原材料	57,629	45,895
その他	216,664	274,032
貸倒引当金	△2,239	△1,961
流動資産合計	10,911,126	11,921,245
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	218,201	363,341
工具、器具及び備品（純額）	45,822	42,087
土地	613,061	613,061
その他	2,015	11,487
有形固定資産合計	879,100	1,029,978
無形固定資産		
ソフトウェア	121	109
ソフトウェア仮勘定	—	66,800
のれん	99,103	79,810
その他	1,807	1,807
無形固定資産合計	101,032	148,527
投資その他の資産		
投資有価証券	3,496	3,496
繰延税金資産	536,015	734,116
敷金及び保証金	337,449	320,877
保険積立金	546,696	625,782
その他	13,532	10,480
貸倒引当金	△4,113	△4,113
投資その他の資産合計	1,433,077	1,690,640
固定資産合計	2,413,210	2,869,146
資産合計	13,324,336	14,790,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,631	330,846
1年内返済予定の長期借入金	27,798	2,805
未払金	1,484,676	2,701,612
未払法人税等	543,327	627,071
未払消費税等	384,360	310,136
賞与引当金	1,157,787	586,418
受注損失引当金	1,539	—
その他	350,961	258,328
流動負債合計	4,283,083	4,817,218
固定負債		
退職給付に係る負債	79,720	76,303
株式給付引当金	55,525	55,525
その他	3,233	5,529
固定負債合計	138,479	137,358
負債合計	4,421,562	4,954,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	312,433	323,356
資本剰余金	224,583	235,506
利益剰余金	8,912,336	9,983,609
自己株式	△582,678	△736,504
株主資本合計	8,866,675	9,805,967
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	4,027	1,006
その他の包括利益累計額合計	4,027	1,006
新株予約権	32,072	28,840
純資産合計	8,902,774	9,835,814
負債純資産合計	13,324,336	14,790,392

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年9月1日 至 2026年5月31日）
売上高	18,545,511	18,910,758
売上原価	13,649,522	13,818,435
売上総利益	4,895,988	5,092,322
販売費及び一般管理費	2,886,755	3,072,932
営業利益	2,009,233	2,019,390
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,924	8,987
助成金収入	—	2,254
不動産賃貸料	1,571	327
保険解約返戻金	5,216	3,780
補助金収入	32,798	25,324
その他	1,672	2,468
営業外収益合計	44,182	43,141
営業外費用		
支払利息	353	118
支払手数料	1,412	533
その他	7	—
営業外費用合計	1,774	652
経常利益	2,051,641	2,061,880
特別利益		
新株予約権戻入益	436	1,074
固定資産売却益	—	425
投資有価証券売却益	—	31,999
特別利益合計	436	33,500
特別損失		
固定資産除却損	215	—
特別損失合計	215	—
税金等調整前四半期純利益	2,051,862	2,095,380
法人税、住民税及び事業税	921,999	1,044,484
法人税等調整額	△185,297	△196,767
法人税等合計	736,701	847,717
四半期純利益	1,315,160	1,247,663
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,315,160	1,247,663

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	1,315,160	1,247,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	—
退職給付に係る調整額	△1,855	△3,020
その他の包括利益合計	△1,855	△3,020
四半期包括利益	1,313,305	1,244,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,313,305	1,244,642

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	39,436千円	45,082千円
のれんの償却額	19,292千円	19,292千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結損益計 算書計上額
	デジタルインテグ レーション	みどりクラウド	機械設計 エンジニア リング	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,860,031	200,705	484,774	18,545,511	—	18,545,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	92,167	92,167	△92,167	—
計	17,860,031	200,705	576,941	18,637,678	△92,167	18,545,511
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	2,054,783	△78,394	17,508	1,993,897	15,336	2,009,233

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額15,336千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関わる重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年9月1日 至 2026年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結損益計 算書計上額
	デジタルインテグ レーション	みどりクラウド	機械設計 エンジニア リング	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,251,950	165,515	493,292	18,910,758	—	18,910,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	555	—	109,139	109,695	△109,695	—
計	18,252,505	165,515	602,432	19,020,453	△109,695	18,910,758
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	2,062,526	△99,152	41,591	2,004,966	14,424	2,019,390

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額14,424千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関わる重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(販売実績)

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		対前年同期 増減率(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	
システムインテグレーション	12,201,038	65.8	12,571,677	66.5	3.0
デジタルトランスフォーメーション	5,658,992	30.5	5,680,272	30.0	0.4
みどりクラウド	200,705	1.1	165,515	0.9	△ 17.5
機械設計エンジニアリング	484,774	2.6	493,292	2.6	1.8
計	18,545,511	100.0	18,910,758	100.0	2.0